

平成17年12月9日

学生 各位

香川大学長

一井眞比古

Winny 等の P2P ソフト等の使用について（嚴重注意）

先日、本学学生の個人用パソコンがウイルス(Antinny)に感染し、作成保存していた病院実習レポートから、個人情報が出す事故が起きました。

当該パソコンには、P2P ソフト（ファイル共有ソフト）の Winny がインストールされており、アンチウイルスソフトが更新期限切れの状態であったことから、Winny 経由でウイルス(Antinny)に感染し、個人情報が出たと判断されます。

新聞報道などでも既報のとおり、ウイルス(Antinny)に感染するとそのパソコン内に保存されているファイル（ワード、エクセル、デジタルカメラ画像、メール、デスクトップ画像など）が広範囲に出します。出した情報は、流出させた者を含め不特定多数の人々に取り返しのつかない大きな被害を与え、また、その情報が個人情報に関するものである場合には、流出させた者は、その責を問われることがあります。さらに、大学内でウイルスが蔓延した場合には、本学の教育、研究、診療、運営等に大きな影響を及ぼします。

これらを踏まえ、学内及び自宅等に限らず、パソコンを利用する際には、以下の事項を遵守してください。

- ・個人情報と思われる情報の学外での取り扱いは、匿名性を確保するなど慎重に行うこと。
- ・不必要な P2P ソフトや出所の不明なソフトはインストールしないこと。
- ・著作権法、不正アクセス禁止法などを遵守し違法な利用はしないこと。
- ・必ずアンチウイルスソフトをインストールし最新の状態を使用すること。
- ・OS 等を最新の状態に保つこと。(MicrosoftUpdate 等を定期的実施する)
- ・不審なメールや添付ファイルは開かないこと。
- ・怪しいサイト(ホームページ)等は閲覧しないこと。
- ・ウイルス等、コンピュータのセキュリティ情報に対して常に注意すること。